

# 平成 30 年度第一回 中央図書館区民懇談会

日 時：平成 30 年 9 月 5 日（水）  
午後 3 時～午後 5 時

場 所：中央図書館 視聴覚室

1 委嘱状伝達

2 あいさつ

教育委員会事務局地域教育力担当部長

2 説 明

- ・「板橋区立中央図書館基本計画」等

3 懇 談

- ・多世代交流（利用）に効果的な図書館サービス

## 資料

（事前送付分）

- ・「板橋区立中央図書館基本計画」概要版

（机上配布分）

- ・資料 1 板橋区立図書館概要  
「未来をはぐくみこころの豊かさと新しい価値観を創造し、“緑と文化”を  
象徴する図書館」
- ・資料 2 新たな中央図書館での事業・サービスの検討状況
- ・資料 3 事前にいただいた意見、提案

## 平成 30 年度 第 1 回 板橋区立中央図書館区民懇談会 概要

1 日 時：平成 30 年 9 月 5 日（水）15：00～17：00

2 会 場：中央図書館 視聴覚室

3 当日出された意見・提案

（1）多世代交流（利用）に効果的な図書館サービスについて

### ①図書館の活用のしかた

- ・中央図書館がやってこなかったような住民参加型の活性化した図書館を目指すという印象だったが、利用者や NPO の団体がイベント（読み聞かせなどに限らず）を開催してもいいのか？可能なら図書館主催ではなく、利用者などの団体に無償で場所貸しを行うのはどうか。

- ・大学のサークルが保育園にきて、指人形劇をしてもらうイベントがあるが、ホールがない小さい保育園では呼べない。そういったときに図書館を貸出してもらえればありがたい。その際、図書館と連携してそれに関連した図書の展示を行えば、本の利用も増えるのではないか。

→区民が積極的に何をやりたいか、声をあげてもらうのは良いことだ。ただ、あくまで図書館は本に関する施設であることからワークショップや発表会、実施した際には本の紹介や展示をするなどしてもらえれば誰でも活用してよいと考える。また、そういった利用が増えることで図書館は静かに本を読むところというイメージを変えていければと思う。

- ・まずは来てもらうことが大事。そういったイベントが広く周知できれば良い。イベントを通じてレファレンスの活用につながる可能性もある。

- ・読書のきっかけづくりとして、古典作品や言葉に関する文化の紹介、人形劇、ダンス、演劇など多様な表現で本の良さを伝える。

### ②多世代交流につながる可能性があるきっかけづくり

- ・地域住民が主体となって活用してもらうためにはまず図書館が主体となったきっかけづくりが必要である。他区で実施している「図書館探検」「アカデミア講座」「郷土文学などを見学するツアー」などを参考に板橋区の図書

館で実施してみてもどうか。中央は各地域館の統括を担うため情報収集だけでなく、発信していくためには民間でできないようなイベントができることが望ましい。

- ・ボランティアの制度を整える必要がある。区民が提案して図書館と共同で実施するためには企画実施を行う核となる専門のボランティアの存在があった方が良い。ボランティアには中高生やシルバー世代がいるかもしれないので、いろんな意見をもらえる可能性がある。そうすると、行政に関する知識が必要となってくるので、中央でその仕組みづくりを担って欲しい。

### ③図書館ボランティアの活動について

- ・今現在、図書館にボランティアからの申請があるのか。その際にはどんな対応をしているのか。

→現状としては、ボランティアからの提案としては読み聞かせが一番多い。最近子ども向けだけでなく、高齢者向けも増えてきた。登録をしてもらい実際にはやりたい内容と場所などがマッチングしないケースもあるが、その際にはまず、活動している団体を紹介してそこでスキルアップにつなげている。

- ・場所の問題は地域センターなどと連携して読書のきっかりとなるような事業を考えてほしい。
- ・個人としてではなく板橋区としての問題を考える。それらを支援するボランティアの仕組みをつくり、最終的には個人個人の意見は集約して区民に還元できるようなプランを創造できれば良い。

### ④読み聞かせなどの事業について

- ・図書館を利用している中で子ども向け企画が多い印象である。障がい者や一般向けのイベントもやって欲しい。図書館の目的として読書人口を増やしていくというのが第一にある。
- ・日本の読み聞かせは児童向けが多い。アメリカでは小中学生向けの読み聞かせとして調べる力や語り合うための語彙をつけるために内容の濃いものを実施している事例がある。読み聞かせの題材は物語が多いが、社会科学などの発展した内容を取り上げるのも良いと思う。

- ・板橋区には6団体の朗読グループがあるが、最初のきっかけは中央図書館から声をかけてもらい10年くらいやっている。が、その担当がいなくなってから、図書館との連携ができなくなってしまった。一般向けの生涯学習という観点から朗読会を開催すると4、50人集まるので、この機会を活用するために図書館に関わってもらいたいので、中央から地域館にも声かけをしてもらいたい。
- ・懇談会のように区民に意見を出してもらう機会が増えれば、さらに活動の幅が広がると思う。
- ・昨年に中央図書館と交渉してストーリーテリングの講習会を実施した。その際場所の確保や広報いたばしへの掲載など全面的にバックアップしてもらえたので、こうした支援をもっと広げていければ、利用者からの企画が活発になると思う。
- ・中央図書館の声かけにより昨年ごろから音訳の講座が多くなった。今後、音訳のボランティアが増えることに期待している。また、対面朗読室を知らない人もいたので、さらに積極的な広報活動が必要であると感じた。
- ・いたばしボローニャ子ども絵本館では、土曜日の午前中に読み聞かせをやっているが平日にやってもいいのではないかと考えている。

#### ⑤その他

- ・舟渡エリア付近は中央図書館へのアクセスが悪く、近くに図書館や本屋さんもないため、活字文化から隔離されているような地域になってしまっている。子どもたちの学力向上のためには読書は大事であるから、学校の図書室を地域に開放できないだろうか。地域のボランティアに運営をしてもらい、利用者がリクエストした本を受け取れるなどが可能となれば良いと思う。
- ・板橋区は学校と地域図書館の連携が密である。団体貸出が充実しており、調べる学習コンクールや読書感想文コンクールもある。新中央図書館は1階に絵本コーナーがあるので、区内にある保育園がもともと平和公園でやっていた行事が活かされるのではないかと。

#### 4 追加の意見・提案

- ・図書館が主体となって実施する読書活動に関するイベントについて、区内の朗読グループが行っている朗読会などを、図書館（中央図書館）の主催または共催、後援で行って欲しい。また、区内の朗読グループを「図書館ボランティア」として図書館との連携を強化してもらいたい。

- ・中央図書館機能の強化

中央図書館の役割として、実施事業、広報活動などに関して各地域図書館の活動の内容の指導・調整機能を強化した方が良い。

- ・「読書会」 例：ひかわんカフェ

中央図書館は牽引役となり、魅力的なテーマを検討し、利用者からのリクエストにも応えつつ、いくつかの読書会グループを立ち上げ、優先的な会場手配、専門家招聘（年1回くらい）、図書館サポーターなどからコーディネーター役を配置し、スムーズなグループ運営をサポートするなどの支援をしてもらいたい。

立ち上がった後も、テーマは随時募集して、図書館側で適切なものと判断したら、メンバーの募集をかけたたり、会場も他の図書館の方が便利であれば、中央図書館から、優先的利用を願い出る、などのフォローが欲しい。また、「読書会だより」のようなものを作り（年2回程度）、各読書会で得た成果、活動の様子などを発信することで、横のつながりや外部へのアピールが図れると思う。

- ・「本の帯（オビ）グループ」 ヤングアダルト対象

自分たちがだれかに読んで貰いたいと思う本に、いわゆる本の帯を作ってディスプレイに活用するというグループ活動を支援するというのはどうだろう。ゆくゆくは、外部の「本の帯創作コンクール」に挑戦するとか、区内でのコンクールを開催する。また、それに伴い、小学生から大人まで募ってワークショップを開き、エキスパートに指導を請う。コンクールやワークショップには「本の帯」メンバーも可能であれば、企画段階から参画して貰い、またアシスタントとしても働いて貰う。

## 板橋区立図書館

未来をはぐくみこころの豊かさと新しい価値を創造し、“緑と文化”を象徴する図書館

中央図書館を核として、区内10館の地域図書館をネットワーク化し、連携して、区民の求める適切な情報を提供

地域  
図書館

区内全域で、区民に身近かな地域の図書館として、読書に親しみ、学習する場を提供  
 学校・地域のニーズに対応し、連携したサービス、事業を展開  
 絵本のまち“板橋”として、ポローニャ子ども絵本館の資源を活用し、絵本の魅力を発信  
 区民が集う地域コミュニティの場の創出、特色のある事業の実施、資料の収集、展示

## 重点テーマ

生涯を通じこころの豊かさを支える

あらゆる方が生涯を通じて利用  
 しやすい資料、サービスを提供  
 生涯学習・活動を支援

## 課題を解決する

日常生活の様々な課題や疑問  
 を解決する資料・情報を提供  
 適切で迅速なレファレンスサー  
 ビスを実施

## 学校・家庭と連携する

学校のニーズ、成長過程に応じ  
 た読書活動支援  
 乳幼児期から絵本に親しむ環  
 境の提供  
 家庭での読書の普及支援

## 地域コミュニティ形成を支援する

地域の情報拠点  
 サークル活動の場の提供  
 地域の防災情報発信

## 事業

ライフステージ、利用目的等利用者に応じた  
 ユニバーサル化した資料・サービス  
 大活字本、多言語資料等の提供  
 対面朗読など障がい者向けサービス  
 各種講座、学習会の開催

課題・テーマ別展示、コーナー設置  
 参考資料の相互貸借  
 レファレンスサービスの充実、PR  
 パスファインダーの作成、配布  
 レファレンス情報共有  
 レファレンス専門アドバイザーによる勉強会

学校図書館支援、図書館ボランティア派遣  
 団体貸出し(図書リストの提供、配送)  
 学校への出張お話し会、ビブリオバトル等  
 図書館見学、職場体験受入れ  
 調べ学習勉強会、年代別おすすめ本リスト  
 ブックスタート、読みきかせおすすめリスト  
 かるがもタイム、お話し会、親子読み聞かせ  
 講座、ミニポローニャフェア、絵本づくり

図書館サポーター登録制度  
 図書館ボランティア養成講座(読みきかせ、  
 本の修理等)、防災展示  
 地域の施設、児童館、あいキッズ等連携  
 地域イベントとの連携事業  
 サークル活動・発表の場の提供

## 新たな取組

わかりやすく、興味を高めるサ  
 イン、資料の配置換え  
 専門家などによる講座の実施  
 区内大学連携講座  
 Webマーケティング、利用者懇  
 談会によるニーズ把握と反映

情報探索講習会  
 特定課題専門レファレンス  
 レファレンス予約/出張サービス  
 レファレンスバッジ着用  
 ICTによるレファレンスサービス

図書館案内DVD「図書館の活  
 用術」を教員へ配布  
 中学生向け絵本翻訳講座  
 児童書専門司書・育児コンシ  
 ュルジュの配置  
 読書通帳機の導入  
 子ども司書講座、英語お話し  
 会、うごく絵本のお話し会  
 仕掛け絵本、布絵本づくり講座

地域情報を収集、発信する図  
 書館編集者養成講座  
 まちライブラリー(地域資料展  
 示)設置、まちを知る、歩く講座  
 高齢者施設等へのアウトリーチ  
 事業の実施

新中央図書館開館に向けた  
事業展開

新中央図書館運営体制に応じ  
 た運営・事業の刷新

- ・図書資料のデータ化更新
- ・いたばしギャラリー等における  
 展示・イベント企画
- ・学校図書館支援センター(中央図  
 書館)を核とした学校連携事業充実
- ・絵本コーナーの充実
- ・ポローニャ絵本関連企画
- ・教育科学館等との連携イベント
- ・新中央図書館プライベート
- ・図書館協議会設置

ICT化導入への対応

- ・電子図書館
- ・デジタルサイネージによる活用案  
 内
- ・タブレット貸出
- ・SNSによる情報発信
- ・AR技術を活用したイベント
- ・地域資料のデジタルアーカイブ化

障がい者サービスの充実

- ・サピエ利用サービス
- ・録音資料提供

イベント時の託児サービス  
 レファレンスサービスの充実

- ・レファレンス協同ベースへの公開

オリンピック・パラリンピック啓  
 発事業の実施

区民との協働

- ・図書館サポーター・グループ活動  
 の組織化
- ・図書館会員制度
- ・板橋区版AI事業との連携
- ・地域共学講座
- ・書籍消毒器の導入

# 板橋区立図書館の連携と特色ある図書館づくり

## 赤塚図書館

地域の情報、文化創造の  
中心となる図書館  
農業・歴史・郷土芸能  
資料

## 高島平図書館

世代間交流を生み出し、  
学び合う図書館  
生きがい推進・健康・多  
文化・青少年向け資料

## 成増図書館

誰もが役立ち、楽しめる  
地域を支える図書館  
ビジネス・起業支援・芸  
術・美術関係資料

## 中央図書館

未来をはぐくみ、こころの豊かさと  
新しい価値を創造し、“緑と文化”を  
象徴する図書館

一般図書・参考図書・専門的資料・  
学校支援資料・電子資料他

絵本のまち板橋

## ポローニャ子ども 絵本館

外国語の絵本

## 氷川図書館

地域経済の活性化に資する  
図書館  
行政・地方自治・医療・健  
康・商店経営関係資料

## 東板橋図書館

板橋の地史・情報を発信する  
図書館  
スポーツ・健康管理・加賀藩  
関連・郷土資料・産業遺産  
関係資料

## 小茂根図書館

地域の学校・施設と連携す  
る図書館  
歴史・遺跡・障がい者福  
祉・就学児向け児童書

## 清水図書館

地域の身近な立寄り型  
図書館  
家庭書・旅行書等実  
用的資料

## 蓮根図書館

施設・地域グループと連携  
する図書館  
高齢者福祉・就学児向  
け児童書

## 西台図書館

児童サービスの充実した  
図書館  
育児・家庭生活・食育・  
幼児向け絵本

## 志村図書館

地域の防災情報、情報発  
信の拠点となる図書館  
労働問題・工業関係・歴  
史・郷土資料

屋外

みんなの広場

ウッドデッキと人工芝で整備し、「おはなし会」などの子ども向けのイベントを定期的を実施します。



参考: 京都国際マンガミュージアム

みんなの広場

新図書館

語らい広場

語らい広場

樹木の周りにベンチ、テーブルを設置し、木陰でくつろげる場所を提供します。



参考: 立正大学(熊谷キャンパス)  
撮影: 吉田 誠

地下1階

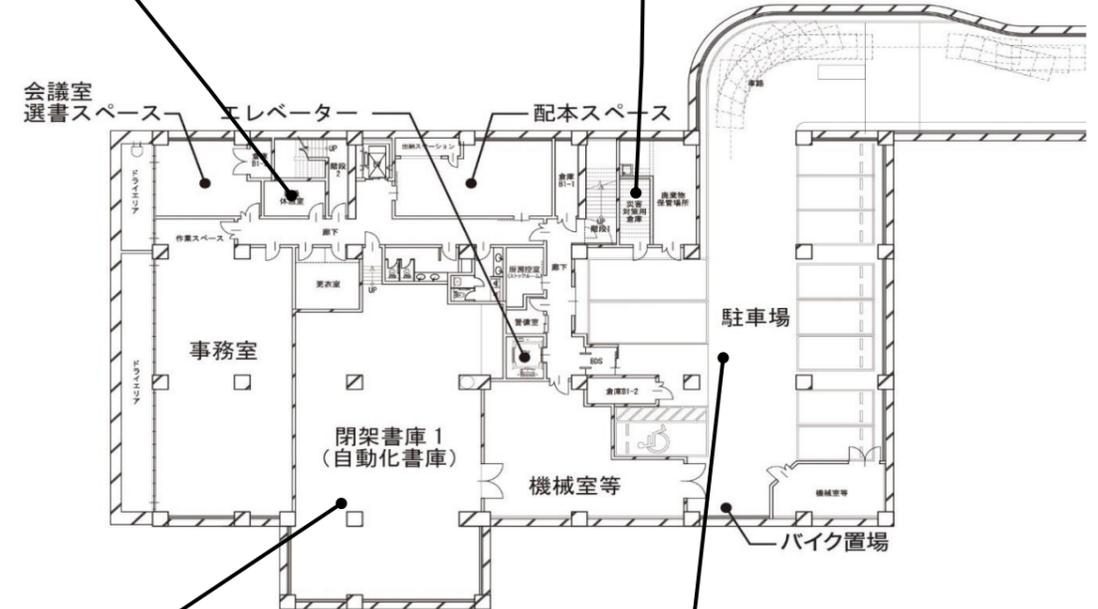
資料2-1

管理諸室兼用救護室

急病人が発生した際の救護室として使用します。

災害対策用倉庫

災害発生時、帰宅困難者の方の物資を保管します。



自動化書庫

膨大な資料を効率的に保管します。また、各階に出納ステーションを設置し、利用者の求める資料を迅速に提供します。

駐車場

駐車スペースを11台(うち、2台は図書館便ほか荷捌用)確保するほか、バイク利用者を想定してバイク置場を確保します。

### 板橋区コーナー

板橋区の郷土資料、友好都市・交流都市に関する資料、平和に関する資料など、区の特徴となる資料の展示、配架を行います。  
また、板橋区史編纂に携わった民俗学者・櫻井徳太郎氏と櫻井徳太郎文庫を紹介する展示を行います。

### レファレンスコーナー

3階には専門的図書、参考図書に加え、学習、調査、研究に役立つ資料を配架し、皆さまの課題解決をサポートします。また、専門のスタッフを配置し、疑問や質問に応えるレファレンスサービスを実施します。



参考：葛飾区立立石図書館・レファレンスカウンター

### ハンディキャップサービスエリア

対面朗読室を整備し、障がい者向けのサービスを利用できます。



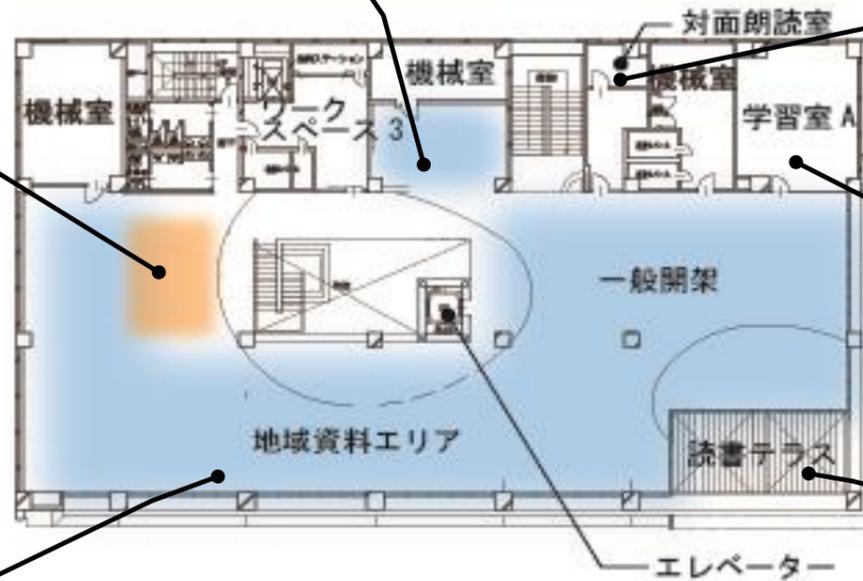
参考：武蔵野プレイス・対面朗読室

### 閲覧席（窓際）

集中して読書ができるように卓上ライトを設置するほか、パソコンが利用できるよう電源を用意します。



参考：新潟市立中央図書館（緑の渚空間）



### 学習室A

館内で最も静かな部屋として、集中して学習ができる場所です。また、一人ひとり仕切りのある座席を用意します。

### 読書テラス

公園の緑を感じながら屋外のテラスで読書が楽しめます。



### Wi-Fiを整備（1階～3階）

利用者のスマートフォンやPC・タブレットでインターネットを利用できるよう、公衆無線LAN(Wi-Fi)を導入します。  
災害時にも情報収集が可能となるような環境を整備します。

### 多目的室

図書館サポーターの活動場所として、本の修理やおはなし会の練習などができます。



参考: 武蔵野プレイス・サポーターズルーム

### 学習室C-1・C-2

中高生が話し合いながらグループ学習ができます。また、C-1とC-2の間は可動間仕切りになっており、可動間仕切りを開放することで一体的に利用することもできます。



### 青少年（ヤングアダルト）エリア

中高生向けの図書を配架し、テーマ展示などを行い、中高生の居心地の良い空間を用意します。



参考: 日進市立図書館 ティーンズコーナー

### 学習室B

個人、グループなど様々なかたちの学習に利用できる場所です。

総合カウンター

### インデックスエリア

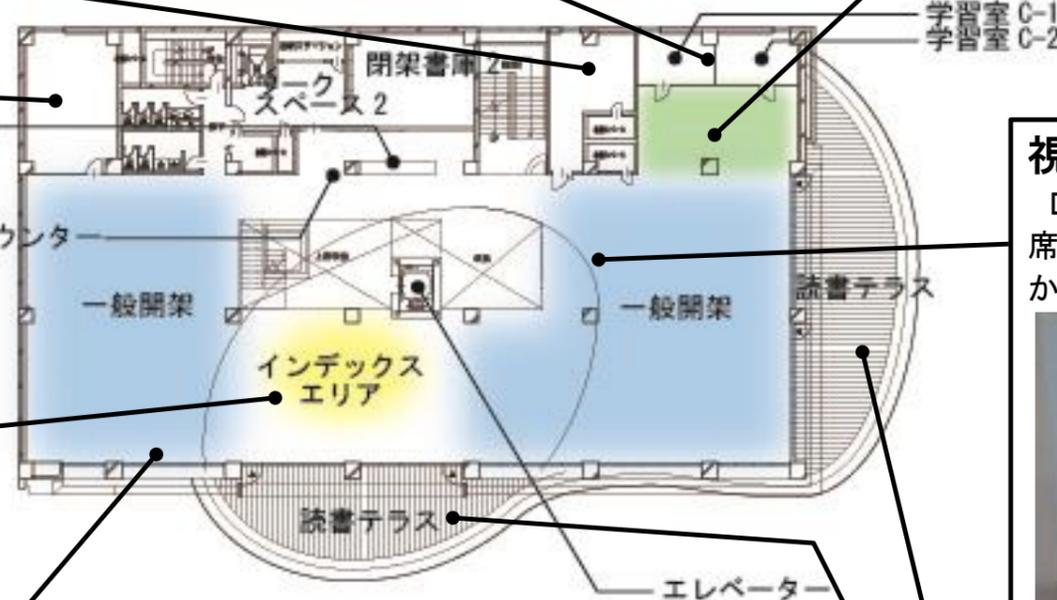
様々な情報を集め、インデックス(見出し)として展示します。また、新着図書、雑誌、新聞などを配架するほか、ビジネス、健康、医療、地域活動支援などのテーマ展示を行います。



参考

### 閲覧席（窓際）

集中して読書ができるように卓上ライトを設置するほか、パソコンが利用できるよう電源



### 自動貸出機（1階～3階）

利用者自身で貸出手続きを行うことができる自動貸出機を各フロアに設置いたします。



参考: 高崎市立中央図書館・自動貸出機

### 視聴覚コーナー

DVD、CDの視聴ができるように機器を設置し専用の座席を設けます。また、パーテーション等で仕切ることによって、外からの視線を適度に遮ることができるブースとします。



参考

### 読書テラス

公園の緑を感じながら屋外のテラスで読書が楽しめます。

1階 公園と連続するにぎわいと活気のある「動」のスペース

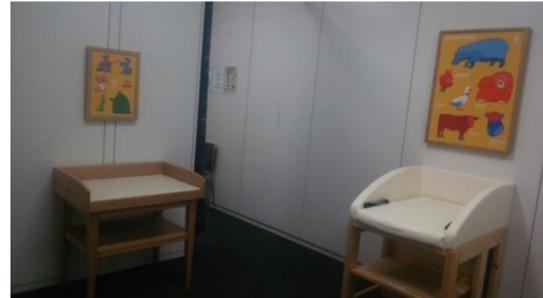
学習室D

小学生中・高学年を対象とした学習室。図書を活用した調べもの学習ができます。また、パソコンを設置し、児童向けのデータベースなどで調べものことができます。



赤ちゃんの駅・託児スペース

おむつ交換・授乳ができます。



参考:板橋区役所南館・赤ちゃんの駅

予約本コーナー

予約した図書等が貸し出せるようになると、この予約本コーナーに保管します。予約した本は、利用者自身で貸出手続きができます。



参考:高崎市立中央図書館・予約本コーナー

いたばしギャラリー

映画会、講演会、展示会などの各種イベント開催のほか、地域コミュニティ形成のため、区民の自主的な企画による講演や発表、展示の場として利用できます。



参考

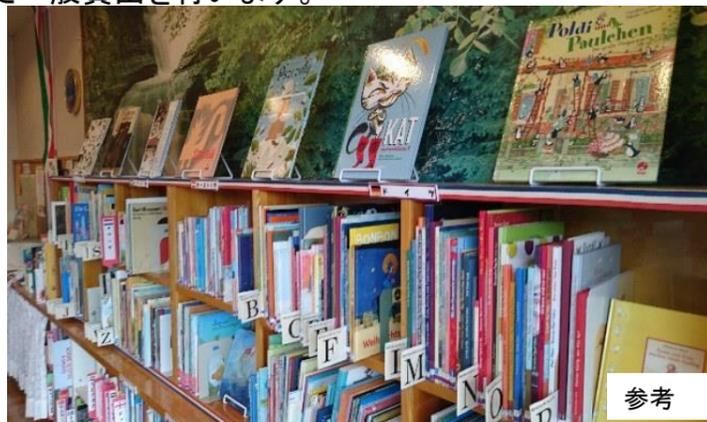
おはなしのへや

靴を脱いで親子での読み聞かせなど自由に読書ができる場所です。また、「おはなし会」などの子ども向けのイベントを定期的実施します

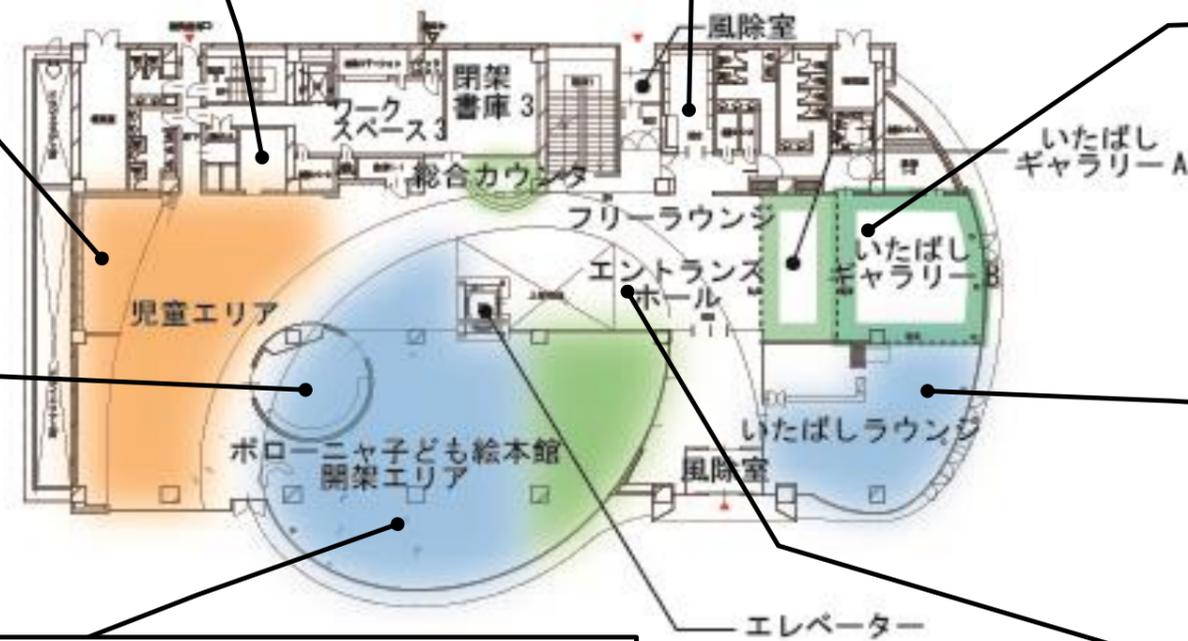


いたばしポローニャ子ども絵本館

所蔵する海外絵本の一部について、これまで実施していなかった一般貸出を行います。



参考



いたばしラウンジ

様々な世代が気軽に集まり、交流することのできるカフェを設置します。また、コーヒーを飲みながら借りた本を読むことができます。



参考:北区立中央図書館・喫茶室

エントランスホール・フリーラウンジ

フリーの休憩スペースとするほか、パネルの展示や企画展示を行います。また、デジタルサイネージを設置し、図書館や地域の情報、イベント情報などを発信します。

また、災害等発生時には、帰宅困難者等の待機場所として活用します。

## 事前にいただいた意見、提案

生涯学習の拠点であり、地域コミュニティ形成を支援する図書館を、多世代交流の場・多世代が利用する場にするための提案

### 図書館が主体となって実施する事業

読書活動に関わるイベント

- ・図書館探検、図書館だいがく
- ・高齢者が幼児への絵本の読み聞かせを引き受けてもらう機会を設ける
- ・区内の朗読グループと図書館による朗読会などのイベント共同開催の拡充

地域コミュニティ形成の支援になる事業の企画

- ・郷土学習と文化の体験・伝統行事を楽しむ会、図書館探検（川越市のナイトツアー）、図書館だいがく、図書館ツアー、板橋紹介ボランティア（文京区の文の京十八の町物語講座）
- ・小中高校生とその親世代が本音でフランクに話し合う機会をつくる
- ・図書館ボランティアやサポーターグループと図書館の連携強化

### 図書館ボランティアが活躍する事業

- ・大人のための朗読会
- ・小規模保育園や児童館と連携し、幼児へ読書・絵本などの関心・興味を喚起する。
- ・絵本などの紹介、お話し会や読み聞かせ

### 多世代交流につながる可能性があるきっかけづくり

- ・高齢者にも分かりやすいように各図書館ホームページ（Face book など）の内容改善

## 板橋区立中央図書館区民懇談会委員名簿

【任期：平成30（2018）年9月5日～平成32（2020）年3月31日】

|     | 名 前    | 備 考      |
|-----|--------|----------|
| 会 長 | 大串 夏身  | 学識経験者    |
| 委 員 | 梶川 悦子  | 図書館司書代表  |
|     | 東 みどり  | 区立小学校長代表 |
|     | 北村 康子  | 区立中学校長代表 |
|     | 阿内 三智子 | 区立幼稚園代表  |
|     | 角田 真弓  | 区立保育園代表  |
|     | 伊藤 文子  |          |
|     | 羽深 由美子 |          |
|     | 柴田 陽子  |          |
|     | 古屋 眞   |          |
|     | 鈴木 洋仁  |          |
|     | 谷 隼太   |          |
|     | 保坂 恵真  |          |
|     | 村山 敦子  |          |

### 【事務局】

教育委員会事務局 地域教育力担当部長

教育委員会事務局 中央図書館長